

# 令和3年度事業報告書

学校法人総合技術学園

札幌科学技術専門学校

## 目次

<b>I 法人の概要</b> .....	<b>2</b>
1. 法人の名称 .....	2
2. 設置する学校 .....	2
3. 所在地 .....	2
4. 沿革 .....	2
5. 役員概要 .....	3
6. 評議員概要 .....	3
7. 教職員数 .....	4
<b>II 法人の事業の概要</b> .....	<b>4</b>
1. 理事会・評議員会の開催状況 .....	4
<b>III. 札幌科学技術専門学校の実業概要</b> .....	<b>5</b>
1. 教育理念 .....	5
2. 定員及び在籍数 .....	5
3. 高等課程 .....	5
4. 専門課程 .....	7
<b>IV. 財務の概要</b> .....	<b>9</b>
1. 事業活動収支計算書 .....	9
2. 貸借対照表 .....	10
1. 財産目録 .....	10

## I 法人の概要

学校法人総合技術学園は昭和 62 年に北海道知事から認可を受けて設立され、以来、多彩な学科を擁する工業系の総合専門学校である札幌科学技術専門学校の設置者としてその運営を担ってきました。札幌科学技術専門学校は、一般的な専門学校が持つ専門課程に加え、中学校卒業者を対象とした高等課程を設置しており、その双方で独自性、専門性の高い教育プログラムを展開しています。

我々はこの学校を支える組織として、教育活動が学生・生徒一人一人へ及ぼす影響の重さに対する畏怖を忘れず、真になすべきことを模索し続け、その責務を全うすること、これらを念頭に置きながら学校運営に携わってまいります。

### 1. 法人の名称

総合技術学園

### 2. 設置する学校

札幌科学技術専門学校

高等課程

専門課程

### 3. 所在地

法人事務局、札幌科学技術専門学校本校舎

札幌市中央区大通西 17 丁目 1 番地 22

自動車実習棟

札幌市中央区北 1 条西 18 丁目 1 番地 35

北校舎

札幌市東区北 24 条東 1 丁目 3 番地 12

### 4. 沿革

昭和 62 年 12 月 札幌科学技術学園 設立（北海道知事認可）

昭和 62 年 12 月 札幌科学技術専門学校 認可

昭和 63 年 4 月 札幌科学技術専門学校 開設

平成 7 年 12 月 高等課程 認可

平成 7 年 12 月 高等課程 開設

平成 15 年 10 月 総合技術学園へ改称

平成 16 年 4 月 北校舎 開設

5. 役員概要（令和3年4月1日時点）

定員 理事7名（欠員1名）監事2名

職名	氏名	常勤・非常勤の別	選任区分
理事長	棚橋 邦雄	非常勤	2号
理事	興野 昌樹	常勤	3号
理事	児玉 佳範	常勤	1号
理事	片岡 清三	非常勤	2号
理事	鈴木 信義	非常勤	2号
理事	伊藤 誠夫	非常勤	3号
監事	阿部 典紀	非常勤	
監事	大沼 芳徳	非常勤	

- 1号 この法人が設置する札幌科学技術専門学校長  
 2号 評議員のうちから評議員会において選任した者  
 3号 学識経験者のうちから理事会において選任した者

6. 評議員概要（令和3年4月1日時点）

定員 17名

氏名	選任区分	氏名	選任区分
瓜谷 弘紀	1号	坂田 潤一	2号
笠島 史生	1号	鈴木 信義	3号
外山 健	1号	棚橋 邦雄	3号
東海 賢司	1号	片岡 清三	3号
中村 敏之	1号	児玉 佳範	3号
山崎 早智子	2号	佐々木 孝一	3号
須田 愛弓	2号	高橋 秀幸	3号
齊藤 忍	2号	竹田 誠	3号
飯田 義之	2号		

- 1号 法人の職員で理事会において推薦された者の中から、評議員会において選任した者  
 2号 この法人の設置する学校を卒業した者で年齢25年以上のものの中から、理事会において選任した者  
 3号 学識経験者の中から、理事会において選任した者

7. 教職員数

	本務	兼務
教員	32	60
職員	13	*10

\*校務及び清掃パート

II 法人の事業の概要

1. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

開催日	議題
令和3年5月27日	令和2年度事業報告について 令和2年度決算および監査報告について
令和3年7月29日	令和3年度第1四半期決算報告について 高等課程学則変更（学費変更）について
令和3年11月4日	令和3年度上半期事業報告について 令和3年度上半期決算報告について 高等課程学則変更（カリキュラム）について
令和4年2月3日	令和3年度第3四半期決算報告について
令和4年3月24日	令和3年度補正予算案について 令和4年度事業計画案について 令和4年度予算案について

(2) 評議員会

開催日	議題
令和3年5月27日	令和2年度事業報告について 令和2年度決算および監査報告について
令和3年7月29日	令和3年度第1四半期決算報告について 高等課程学則変更（学費変更）について
令和3年11月4日	令和3年度上半期事業報告について 令和3年度上半期決算報告について 高等課程学則変更（カリキュラム）について
令和4年2月3日	令和3年度第3四半期決算報告について
令和4年3月24日	令和3年度補正予算案について 令和4年度事業計画案について 令和4年度予算案について

### Ⅲ. 札幌科学技術専門学校の事業概要

令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言および感染者の発生による影響で、臨時休校や学級閉鎖・分散登校・時差登校等、これら措置に伴う補講や家庭学習の対応、オンライン授業対応、学校行事や学科行事の中止・延期・縮小を余儀なくされることとなったが、校長を中心とした各部長・教職員の努力により問題なく学修の継続が行われた。募集活動についても地方を含む進学相談会の中止や入学体験会の中止・短縮開催などを補うため、オンライン説明会の開催や独自の個別説明会の開催、入試の配慮等により前年を上回る入学者となった。

#### 1. 教育理念

「清明・誠実・情熱」

#### 2. 定員及び在籍数（令和3年5月1日現在）

学科	昼夜種別	修養年限	入学		在籍	
			定員	入学者数	定員	在籍数
高等課程						
総合技術	昼	3	50	37	150	100
専門課程						
自然環境	昼	2	20	10	40	22
建築技術	昼	2	20	14	40	31
バイオテクノロジー	昼	2	20	12	40	24
海洋生物	昼	2	20	15	40	35
電気技術	昼	2	40	13	80	36
情報システム	昼	2	20	24	40	45
自動車工	昼	2	120	52	240	109
自動車工	夜	3	20	12	60	29
計			330	189	730	431

#### 3. 高等課程

高等課程では情報技術分野・環境バイオ分野・電気分野・自動車分野の一つを第2学年から選択し、それぞれの専門分野での基礎を身に付けられるよう、カリキュラムを組んでいます。また、技能連携制度による広域通信制の高等学校、科学技術学園高等学校にも在籍するため、普通科高等学校卒業資格も得られます。

##### (1) 教育目標、教育方針

###### 教育目標

「一人ひとりの人間を大切にし、『生きる力』を育てる」

## 教育方針

- ① 個性の尊重
- ② 基礎・基本事項の徹底
- ③ 技術教育の奨励
- ④ 高・専一貫教育の推進

## (2) 令和2年度の状況、実績

### ① 進級

2年への進級率 89.2%

3年への進級率 92.9%

### ② 進路指導

卒業時点での進路決定率（進学、就職、その他）97.0%

### ③ 進学

北海道情報大学 経営情報学部 先端経営学科

札幌国際大学 人文学部 心理学科 臨床心理専攻

札幌科学技術専門学校

北海道スポーツ専門学校

北海道デザイン&テクノロジー専門学校

経専北海道どうぶつ専門学校

北海道芸術デザイン専門学校

札幌マンガ・アニメ&声優専門学校

### ④ 就職

アイエス電気工事

株式会社小林塗建

株式会社山本塗装店

### ⑤ クラブ活動等

バドミントン部

定時制通信制体育連盟石狩支部大会（団体・個人）参加

定時制通信制体育連盟石狩支部新人大会（個人）参加

パソコン部

全国高等学校IT・簿記選手権大会に出場していたが、前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

#### 4. 専門課程

建築、自動車、電気、情報といった工業系の主要な分野に加え、自然環境、バイオテクノロジー、海洋生物、自動二輪車といった、特色ある学科を揃えています。二級自動車整備士コースでは道内唯一の夜間を設置しているなど、社会の状況に対応するきめこまかい教育を実施しています。

##### (1) 教育目標、教育方針

###### 教育目標

技術・知識・人間性などあらゆる面で、実社会に必要とされる技術者を育てる

###### 教育方針

- ① 個性の尊重
- ② 実技の重視
- ③ 成功体験の付与
- ④ 人間教育の推進
- ⑤ 最新技術への挑戦

##### (2) 令和3年度の状況、実績

###### ① 資格取得状況（一部）

###### 建築技術学科

2級建築施工管理技術検定（一次検定） 合格率 75%

建築CAD検定3級 合格率 92%など

###### 自然環境学科

技術士第一次試験（環境） 1名合格

公害防止管理者水質第4種 3名合格

2級ビオトープ管理士 5名合格

生物分類技能検定3級 9名合格など

###### バイオテクノロジー学科

中級バイオ技術者認定試験 合格率 100%（2名が成績優秀者として表彰）

危険物乙種各類合格者多数など

###### 海洋生物学科

小型船舶2級、スクーバCカード、潜水士 受験者全員合格など

###### 電気技術学科

第一種電気工事士（技能試験） 合格率 55%

2級電気工事施工管理技術検定（一次検定） 合格率 57%など

###### 情報システム学科

ITパスポート 合格率 83%

情報セキュリティマネジメント 5名合格

基本情報技術者 4名合格など

二級自動車整備士コース（昼）

- 2級ガソリン自動車整備士 合格率 100%
- 2級ジーゼル自動車整備士 合格率 98%
- 中古車査定士試験 合格率 100%
- ガス溶接安全教育 合格率 100%
- アーク溶接特別教育 合格率 89%
- タイヤ空気充てん作業特別教育 合格率 100%
- 電気自動車の整備事業に係る特別教育 合格率 100%など

二級自動車整備士コース（夜）

- 2級ガソリン自動車整備士 合格率 100%
- 2級ジーゼル自動車整備士 合格率 100%
- アーク溶接特別教育 合格率 100%
- タイヤ空気充てん作業特別教育 合格率 100.0%など

自動二輪車コース

- 二級二輪自動車整備士 合格率 100%
- 二級ガソリン自動車整備士 合格率 100%
- ガス溶接安全教育 合格率 100%
- アーク溶接特別教育 合格率 100%
- タイヤ空気充てん作業特別教育 合格率 100%など

③ 就職内定率（二級自動車整備士コース（夜）は在職者を含む）

自然環境学科	80.0%
バイオテクノロジー学科	77.8%
海洋生物学科	93.8%
建築技術学科	100.0%
電気技術学科	100.0%
情報システム学科	94.1%
二級自動車整備士コース（昼）	100.0%
自動二輪車コース	100.0%
二級自動車整備士コース（夜）	100.0%
専門課程全体	94.0%

④ 課外活動、イベント等の実施状況

体育祭は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により中止

文化祭は開催時間の短縮、内容を縮小して実施

クラブ活動:バドミントン部、自動車部、水槽部、自転車同好会

※新型コロナウイルス感染状況を随時判断しながら6月～10月まで実施

校外美化活動:7月から10月まで週1回、1年生クラス毎に実施

#### IV 財務の概要

##### 1. 事業活動収支計算書

区分		科目	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	345,745,715
		手数料	841,084
		経常費等補助金	46,554,880
		雑収入	0
		教育活動収入計	393,141,679
	事業活動支出の部	人件費	230,347,929
		教育研究経費	74,553,337
		管理経費	112,198,470
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	417,099,736
教育活動収支差額			△ 23,958,057
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	7,747
		その他の教育活動外収入	10,924,755
		教育活動外収入計	10,932,502
	事業活動支出の部	借入金等利息	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額			10,932,502
経常収支差額			△ 13,025,555
特別収支	事業活動収入の部	特別収入計	0
	事業活動支出の部	特別支出計	0
	特別収支差額		
基本金組入前当年度収支差額			△ 13,025,555
基本金組入額合計			11,527,100
当年度収支差額			△ 24,552,655
前年度繰越収支差額			△ 1,174,675,685
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 1,199,228,340

## 2. 貸借対照表

資産の部		( 単位 円 )
	科目	期末残高
固定資産		2,034,819,595
有形固定資産		2,034,294,787
その他の固定資産		524,808
流動資産		193,939,926
資産の部合計		2,228,759,521
負債の部		
	科目	期末残高
固定負債		31,626,435
流動負債		238,022,156
負債の部合計		269,648,591
純資産の部		
	科目	期末残高
基本金		3,158,339,270
繰越収支差額		△ 1,199,228,340
純資産の部合計		1,959,110,930
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計		2,228,759,521

### 注記

減価償却額の累計額の合計額	1,124,044,483 円
徴収不能引当金の合計額	0 円
担保に供されている資産の種類及び合計額	
土地	1,389,841,174 円
建物	620,401,942 円
翌年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額	なし

## 3. 財産目録

科目	( 単位 円 )
財産額	2,228,759,521
基本財産	2,034,294,787
運用財産	194,464,734
現金預金	188,958,926
その他の運用財産	5,505,808
負債額	269,648,591
固定負債	31,626,435
流動負債	238,022,156
前受金	229,039,300
その他の流動負債	8,982,856
正味財産	1,959,110,930